

MDM「SPPM2.0」が Android 6.0(Marshmallow)に対応

株式会社AXSEED(以下、AXSEED)が開発・提供するモバイル端末管理システム「SPPM2.0」が、Android 6.0(Marshmallow)に3月15日より対応を予定しています。法人ユーザーは、Android 6.0端末のリモート集中管理が可能となります。

昨年、Android OSの最新版 Android 6.0(Marshmallow)が発表されました。このOSの仕様変更により、トップ画面で稼働するアプリ情報の取得が不可能となったため、これまでの“トップ画面で稼働するアプリ情報をチェックして制御する”という方法では利用アプリ制限ができなくなりました。これに対し、AXSEEDは、「SPPM2.0」の利用アプリ制限の方法を大幅に変更し、かつ複数の方式で対応します。

これにより、基本的なリモート・ロックやリモート・ワイプだけでなく、利用アプリ制限を含むSPPMの機能をAndroid 6.0(Marshmallow)が搭載された端末でも利用でき、従来のAndroid OS端末と同様の制御・管理が可能となります。

【 今後の展開 】

「SPPM2.0」は、今後も最新のOSや端末にスピーディに対応し、スマートフォン・タブレットの法人利用をサポートしてまいります。また、端末メーカーとの連携により、Galaxyシリーズ、Xperiaシリーズでは、通常のAndroid端末以上の制御・管理が可能であり、現在も複数の端末メーカーとの連携に向け、準備を進めています。

【 モバイル端末管理システム「SPPM2.0」 】

「SPPM2.0」は、三井住友海上火災保険株式会社様や江崎グリコ株式会社様、株式会社前川製作所様など、累積利用社数約3,000社、管理端末約300,000台の導入実績(2016年2月末時点)を持つ純国産のMDMシステムです。Androidだけでなく、iOS、Windowsとあわせた3OSの統合管理が可能です。

SPPM製品サイト <http://www.sppm.jp/>

※記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

【 会社概要 】

【会社名】 株式会社AXSEED(アクシード) <http://www.axseed.co.jp/>

【代表者】 代表取締役 新明 善彦

【所在地】 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル 8F

【事業内容】 ソフト開発、システム開発・構築・管理・運用、各種情報関連製品・コンテンツ販売